

使用済燃料再処理・廃炉推進機構 第79回運営委員会 議事概要

- 1 開催日時 2024年12月19日(木) 9:30~12:00
- 2 開催場所 使用済燃料再処理・廃炉推進機構 会議室
- 3 出席委員 近藤駿介(委員長)、山口彰(委員長代理)、秋池玲子、井口哲夫、
小澤俊朗、織朱實、齊藤拓巳、佐久間総一郎、采田正之
出席理事 増田博武(理事長)、鴫田真孝(副理事長)、板垣雄士、出光一哉、
胡居宏明、河合雅彦、平島暁

4 議事の経過及び結果

(1) 運営委員会の成立状況の確認

本日の運営委員会の出席者は16名であった。定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数が出席しているので、本運営委員会が成立したことを確認した。

(2) 議案審議及び自由討議

【決議事項】

第1号議案 2024年度廃炉実施計画変更確認の件

○事務局から、2024年度廃炉実施計画変更確認に関する議案について説明を受けた。

また、今回の変更で明らかになった合理化や改善手法について、他事業者へ共有し、最新の知見を織り込んでいくことや、水平展開を促すことが紹介された。

○委員から、コスト算定にあたって現在設定している工法を、最新の技術、知見に応じて見直していくことが今後の課題の一つとなるとの意見があった。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

【報告事項】

a. 主な業務の執行状況について

理事長から、主な業務の執行状況について報告を受けた。

<添付資料>

[「主な業務の執行状況」](#)

b. 再処理事業等に係る事業費提案等について(日本原燃株式会社)

日本原燃から、再処理事業等に係る事業費提案について説明を受けた。

委員から、新規制基準適合審査による影響評価と経済指標の反映に関する考え方について質問があり、日本原燃から回答するとともに、その回答内容を機構と協議してさらに明確化していきたいとの説明があった。

また、委員からの指摘に応じ、しゅん工延期に伴うコストと、新規制基準適合に必要なコストを明確に区別することとした。

委員から、原子力人材の確保が急務であるなか、今後、人件費の過剰な抑制につながることを前提にはしないようにとの意見があった。

その後、事務局から事業費精査の進め方等について報告を受けた。

委員から、試算の前提条件の考え方について確認があった。今後は事務局において「事業費精査に係る基本方針」に則り、「安全性」、「適切性」および「事業継続性」を確認しつつ精査を進めていくこととした。

<添付資料>

[「事業費精査に係る基本方針」](#)

(3) その他

委員長は、議事概要に記名押印する者として、委員長の他、山口委員長代理及び増田理事長の3名を指名したい旨を提案したところ、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事概要を作成し、前記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理・廃炉推進機構

運営委員会

委員長 近藤 駿介 印

委員長代理 山口 彰 印

理事長 増田 博武 印

以 上